

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)

【公開番号】特開 2015-56114 (P2015-56114A)

【公開日】平成 27 年 3 月 23 日 (2015.3.23)

【年通号数】公開・登録公報 2015-019

【出願番号】特願 2013-190400 (P2013-190400)

【国際特許分類】

G 0 5 B 19/409 (2006.01)

【F I】

G 0 5 B 19/409 C

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 7 月 12 日 (2016.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

そして、表示制御部 12 は、以降、前記入力信号処理部 13 から表示画面変更信号を受信すると、これに応じて、各表示領域 24 ~ 34 の表示画面を変更する処理を行う。例えば、表示制御部 12 は、後述するページ切替信号を前記入力信号処理部 13 から受信すると、これに応じて該当する表示領域 24 ~ 34 のページを切り替えて表示し、スライド信号を受信すると、該当する表示領域に現在表示している表示画面のスライド方向後部に、これに続く表示画面（前ページ又は次ページの表示画面）を接続した状態で、これらの表示画面を前記スライド信号に従ってスライド表示する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

また、表示制御部 12 は、前記入力信号処理部 13 から、後述する強調表示信号を受信すると、該当する操作キーを強調して表示し（例えば、該当する操作キーを他の操作キーとは異なる表示色で表示する、或いは該当する操作キーの輪郭線を太くするなど）、同様に、前記入力信号処理部 13 から、後述する初期画面表示信号を受信すると、初期画面情報記憶部 17 に格納された情報を参照して、該当する運転モードの初期操作画面を、前記第 1 操作画面表示領域 27 及び第 2 操作画面表示領域 28 にそれぞれ表示する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

即ち、まず、前記表示領域 24 ~ 34 の内の異なる複数の領域から信号が入力されたかどうかを確認され、複数の信号が入力された場合には、最先に入力された信号が有効にされ、それ以降に入力された信号が無効にされる。ついで、入力信号が画面変更信号（フリック操作信号）であるのか、或いは操作信号であるのかが確認され、フリック操作信号で

ある場合には、そのフリック操作に応じてページ切替信号又はスライド信号が表示制御部 1 2 に送信される。そして、表示制御部 1 2 は、受信した画面変更信号（ページ切替信号又はスライド信号）に応じて、該当する表示領域 2 4 ~ 3 4 の表示画面を変更する、即ち、ページ切替信号の場合には、ページを切り替えて表示し、スライド信号の場合には、スライド表示する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

一方、入力信号が操作キーに対応する信号である場合には、入力信号処理部 1 3 は、これが操作信号であると認識して、その操作キーに対応した操作信号を生成して動作制御部 6 に送信するとともに、当該操作キーの画像を強調表示する指令（強調表示信号）を表示制御部 1 2 に送信した後、操作キーが運転モードの選択キーであるかどうかを判別し、運転モードの選択キーである場合には、これに対応した初期操作画面表示指令（初期画面表示信号）を表示制御部 1 2 に送信する。そして、表示制御部 1 2 は、強調表示信号を受信すると、該当する操作キーを強調して表示し、初期画面表示信号を受信すると、該当する運転モードの初期操作画面を、前記第 1 操作画面表示領域 2 7 及び第 2 操作画面表示領域 2 8 にそれぞれ表示する。